

鎌倉楽しむ会

古都・鎌倉の散歩道

極楽寺から

甘縄神明宮

パート ①

(集合) 東京駅丸の内北口

平成26年 月 日



極楽寺

● 山号は靈鷲山(りょうじゅせん)。開山は忍性。開基は北条重時。ある老僧が深沢に草堂を建て、阿弥陀如来像を安置して極楽寺と称した。僧亡き後、正元元年(1259)、二代執権・北条義時の三男・重時が現在の地に再建したと伝えられる。文永4年(1267)、重時の子、長時と業時の兄弟が、当時、多宝寺に入山していた忍性を招いて開山した。忍性は、ここに

施薬院、悲田院、施益院、福田院を設け不幸な人を救済する事業に取り組み、人々から医王如来と崇められた。本尊の木造清涼寺式釈迦如来立像、木造釈迦如来座像、十代弟子立像などは、鎌倉時代の作で国の重要文化財。密教法具類もやはり国の重要文化財。裏手には忍性菩薩廟がある。秘仏の本尊は4月7・8・9日のみ公開される。

針磨橋

● 別名、我入道橋ともいう。極楽寺川にかかる橋で、その名の由来は、昔、この辺りに針金を磨いて針を作る老婆が住んでいたこともある。近く到我入道という僧侶が住んでいたからとも。

阿仏尼滞在跡

● ?～弘安6年(1283)。鎌倉時代中期の歌人。藤原為家(定家の子)の側室。為家の死後、領地相続をめぐる、正妻の子・為氏と争う息子・為相の正当性を幕府に訴えるため、弘安2年(1279)鎌倉に下向し、江戸電極楽寺駅のほど近く、月影ヶ谷に滞在したといわれている。鎌倉で書かれたともいわれる日記「十六夜日記」は、その紀行・滞在記である。

伝上杉憲方墓



● 上杉憲方建武2年(1335)～応永元年(1394)は、山ノ内上杉氏の祖。室町時代に鎌倉公方・足利氏満に仕えて執事になった。極楽寺坂にある石塔群のうち、七層

塔が憲方の墓で、五層塔は妻の墓とされる。墓の向かいの西方寺跡には、妻が建てたとされる憲方の逆修塔(生前に建てる供養塔)がある。憲方は晩年、出家し道合と呼ばれ、山ノ内の明月院を開いたので、「明月院やぐら」にある墓も憲方のものといわれている。国指定史跡。」

成就院

● 真言宗大覚寺派。山号は普明山。開山は弘法大師。弘法大師が諸国巡礼の折、百日間にわたる虚空蔵菩薩を祀る修法を行ったところと伝えられる。承久元年(1219)三代執権の北条泰時が、この寺を創建し、北条一族の繁栄を祈ったという。元弘3年(1333)、新田義貞の鎌倉攻めの戦いで焼失したが、江戸時代に再建された。弘法大師像や奈良・法隆寺の夢殿を思わせる八角堂がある。アジサイが美しいことでも知られる。

虚空蔵堂



● この虚空蔵堂は成就院が管理して、正式には「明鏡山星井寺」という。天平時代(729～749)に「行基」が像を彫って祀ったと伝えられる。鎌倉時代には、源頼朝の命により秘仏とし、35年に一度だけ開帳されていた。現在は毎年一・五・九月の十三日に開帳される。

星の井



● 「星の井」です。鎌倉十井の一つで、昔、この井の中に昼間でも星の輝きが見えたことから、この名がついたという。「行基」は、底をさらってみると光り輝く石を得、それを「虚空蔵菩薩」の化身と思い、お堂を建てて祀ったということです。

力餅家



● 極楽寺坂下の力餅家の写真です。「権五郎力餅」が有名で、創業約300年ということです。日持ちはないがおみやげに超人気です。

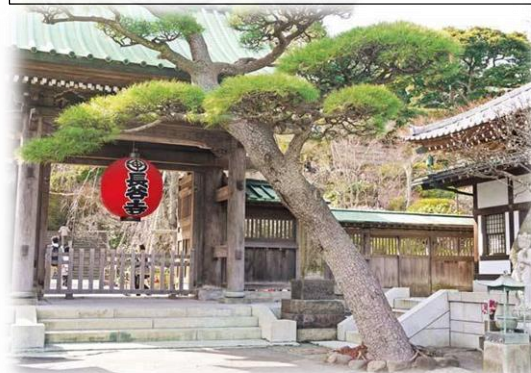
御霊神社

● 祭神は鎌倉権五郎景政。平安時代の創建。景政は平安時代後期の平氏一門の武士で、鎌倉武士団を率いて湘南一帯を開発した開発領主である。源義家に従い「後三年の役」に出陣し、右目を射抜かれてもひるまず戦ったという武勇伝が残っている。九月の例祭で面をつけて行道する「面掛行列」や、鎌倉神楽、海の日御供流しなど神事が盛ん。

収 玄寺

● 日蓮宗。日蓮宗立宗当初からの門徒で、鎌倉武士であった四条金吾の屋敷跡に建立された。金吾は、北条義時の孫である江間光時の家臣。境内の大きな石碑「四条金吾邸址」は、日蓮宗の信者で、日露戦争で連合艦隊を率い、勝利に導いた「東郷平八郎」の揮毫によるものである。

鎌倉 長谷寺

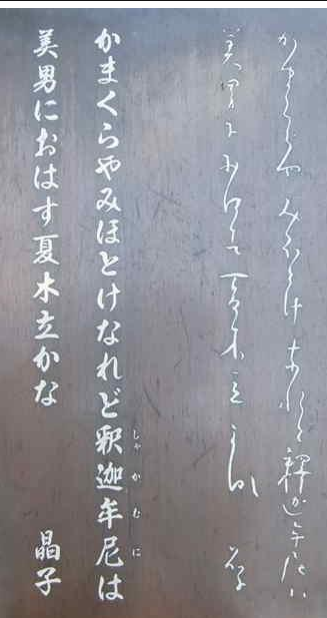


● 山号は海光山。創建は天平8年(736)、開山は「徳道」本尊の「十一面観音菩薩像」は、奈良の長谷寺と同じ一本のクスノキの霊木より彫られたといわれ、9.18 祀ある像高は、木造では日本最大級。ほかにも見所いっぱい。

光則寺

● 日蓮宗。文永11年(1274)の創建。開山は日蓮の高弟で日朗。開基は宿谷光則は北条時頼の家臣。日蓮が佐渡流罪になったとき、ともに捕らえられた日朗を自邸で監視する任についた。日蓮に心打たれた光則は、のちに帰依して自邸を寺にした。裏山に日朗が幽閉された土牢が残り、傍らには佐渡流罪前夜、日蓮が日朗に送った「土牢御書」の石碑もある。樹齢二百年といわれるカイドウの古木は市の天然記念物。

高德院



● 浄土宗。鎌倉大仏(阿彌陀如来像(国宝))で知られる高德院は、開山、開基ともに不明。奈良の大仏は勅命で造られたが、鎌倉大仏は民衆の浄財を集めて完成した。建長4年(1252)に青銅像が鑄造され、大仏殿に安置された。しかし、明応4年(1495)、津波で大仏殿が流されてからは露座の大仏となった。高さ約13m、重量122トン。境内奥に観月堂があり、傍らには左の「与謝野晶子」の歌碑がある。



甘縄神明宮

● 長谷の鎮守。社伝によれば和銅3年(710)8月、行基が草創し、豪族・染谷時忠が建立したといわれる。源頼義が平直方の女と結婚し、当社に祈って愛児(八幡太郎義家)に恵まれたことから、源氏の縁が深い神社として信仰を集めた。頼義や義家は社殿を修復し、文治2年(1186)10月、当社を伊勢別宮と崇敬した頼朝が社殿を修理し、四方に荒垣および鳥居を建て

たと「吾妻鏡」は伝える。北条政子や実朝も参詣したと伝えられる。社頭一帯は、鎌倉時代初期の武将・安達盛長の屋敷跡。盛長は頼朝に重用された重臣で、後の執権北条氏とも縁戚関係を築いた。石段下に「北条時宗公産湯の井」がある。これは、時宗の祖母・松下禅尼が安達氏出身であることから生まれた伝説であらうとされている。

鎌倉文学館



● 国登録有形文化財。旧加賀藩前田家16代前田利為により、昭和11年に建築された。佐藤栄作元総理大臣の別荘としても利用され、昭和58年鎌倉市に寄贈され、昭和60年から鎌倉文学館として公開。バラ園も楽しめます。

* 参考文献: 鎌倉の神社、鎌倉の寺、鎌倉観光文化検定テキスト、各寺社のHP